

令和2年度 環境部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
環境部長 奥田 幸一	<p>●使命 私たち環境部は、総合計画に掲げる「人と地球にやさしい環境に配慮した美しいまち」実現のため、市民、事業者と行政の協働による、ごみ減量化の推進と、人と地球にやさしい環境負荷の少ない循環型社会を目指します。あわせて、生活関係施設整備（新火葬場整備）を推進していきます。</p> <p>●基本方針</p> ① 新火葬場の整備を推進します。 ② 地球温暖化防止対策を推進します。 ③ ごみの減量及び効率的な処理を目指します。 ④ 消費生活センターの充実を図り、消費者被害の防止に努めます。 ⑤ 環境保全対策を推進します。	所管課	環境課、クリーンセンターかもめ、長船衛生センター、長船クリーンセンター、消費生活センター		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			14人	14人	28人
		一般会計	729,563		千円
		特別会計			千円
		計	729,563		千円
	(うち人件費)	(111,178		千円)	

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1 新火葬場の整備の推進	岡山市との広域整備にかかる基本協定を締結し、I C・造成工事に着手します。また、新火葬場本体工事にかかる事業手法を検討します。	岡山市との協議を進め、広域整備にかかる基本協定を締結するとともに、新火葬場のI C・造成工事に着手します。 新火葬場建物や火葬炉にかかる建築工事の事業手法を検討します。	9月18日に新火葬場整備に係る規約及び補正予算が可決されました。 建築工事の事業手法を検討しています。	12月17日に新火葬場専用I C・造成工事に着手しました。また、規約及び協定に基づき岡山市との連絡会議を立ち上げました。 建築工事の事業手法を検討しています。	新火葬場専用I C・造成工事を施工しています。また、規約及び協定に基づき2月1日に岡山市との連絡会議を開催しました。 建築工事は設計施工一括発注方式を選定し業務を進めます。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2 地球温暖化防止対策の推進	地球温暖化対策計画（平成 28 年 5 月 13 日閣議決定）に基づき、温室効果ガス排出量を 2030 年度に 2013 年度比 26%削減を目指して各種施策を推進します。	公共施設等先進的CO ₂ 排出削減対策モデル事業により、市内省エネ改修施設でのデマンド制御を運用し、二酸化炭素の排出量を年間 60.4 t-CO ₂ 削減します。 また、市民に向けて市ホームページ等で事業の周知を図ります。	4月から全施設でのデマンド制御の運用を開始しました。 本年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、特に本事業の対象施設の半数以上を占める学校施設では、窓の一部を開放し、常時換気を行いながら空調機を使用したため、想定外の負荷がかかり、現時点では目標達成に至っておりません。 デマンド制御システム自体は正常に稼働しており、電力使用量を抑制することができています。	新型コロナウイルス感染症の影響により、CO ₂ 排出削減の目標達成には届いておりません。 今後も新型コロナウイルス感染症対策での換気量確保とともに、可能な範囲でデマンド制御システムを運用し、電力使用量を抑制していきます。 デマンド制御システム自体は正常に稼働しており、電力使用量を抑制することができています。	新型コロナウイルス感染症対策の一環として、各施設での常時換気の実施や、小中学校での夏季休業期間における授業の実施が要因となり、空調の電力使用量が増加したため、デマンド制御運用によるCO ₂ 排出削減目標は達成できませんでした。 なお、事業全体でのCO ₂ 削減量は、LED照明への更新及び太陽光発電による削減効果で、年間目標値（504.57 t-CO ₂ ）に対し 79.3%の達成率になりました。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況																														
3	<p>ごみの排出抑制や循環型社会施策の推進と環境関連施設の適正な維持管理</p> <p>プラスチック製容器包装の分別適正化の推進を図ります。ごみ減量化と人的負担の軽減を図るため、出前講座、広報紙などを通して啓発を行い、プラと対象外プラ商品との分別徹底を図ります。</p> <p>生ごみの減量化、減容化の推進を行います。可燃ごみの減量化対策として既に多品目分別による資源化施策を行っています。残る生ごみ処理についても微生物資材等を活用した生ごみ処理事業の推進により、可燃ごみの減量化を推進します。</p> <p>2施設あるごみ分別施設の機能の集約化を行い、分別作業の向上や効率化を図ります。</p>	<p>ごみ減量率は、令和2年度末で17%を目指します。</p> <p>ごみ減量率の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体</th> <th>家庭系可燃ごみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年度</td> <td>4.0%</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>8.4%</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>10.7%</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>13.8%</td> <td>14.6%</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>14.6%</td> <td>13.9%</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>16.0%</td> <td>15.5%</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>16.1%</td> <td>14.7%</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>16.1%</td> <td>15.8%</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>13.3%</td> <td>12.3%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	全体	家庭系可燃ごみ	23年度	4.0%	4.2%	24年度	8.4%	6.9%	25年度	10.7%	9.2%	26年度	13.8%	14.6%	27年度	14.6%	13.9%	28年度	16.0%	15.5%	29年度	16.1%	14.7%	30年度	16.1%	15.8%	元年度	13.3%	12.3%	<p>ごみ減量率は、次のとおりです。</p> <p>4月末 14.9%</p> <p>5月末 13.0%</p> <p>6月末 11.1%</p> <p>7月末 10.7%</p> <p>8月末 11.3%</p> <p>参考：R元.9月末 11.5%</p>	<p>ごみ減量率は、次のとおりです。</p> <p>9月末 12.1%</p> <p>10月末 12.9%</p> <p>11月末 13.2%</p> <p>12月末 13.3%</p> <p>1月末 14.0%</p>	<p>コロナ禍で家庭ごみの量が増えたため目標にはいたりませんでした。ごみの減量率は、次のとおりです。</p> <p>2月末 14.8%</p> <p>3月末 14.8%</p> <p>参考 R2.3月末 13.3%</p>
		年度	全体	家庭系可燃ごみ																															
23年度	4.0%	4.2%																																	
24年度	8.4%	6.9%																																	
25年度	10.7%	9.2%																																	
26年度	13.8%	14.6%																																	
27年度	14.6%	13.9%																																	
28年度	16.0%	15.5%																																	
29年度	16.1%	14.7%																																	
30年度	16.1%	15.8%																																	
元年度	13.3%	12.3%																																	
<p>生ごみ処理機購入補助事業の促進を行います。目標35件(R元年度実績14件)</p> <p>クリーンセンターかもめ内に、不燃粗大・古紙類・プラスチック製容器包装等のストックヤード整備を行います。本年度は施設集約化実施設計を実施します。</p>	<p>生ごみ処理機26台に対し補助金を交付しました。</p> <p>実施設計を策定中です。</p>	<p>生ごみ処理機39台に対し補助金を交付しました。</p> <p>同左</p>	<p>生ごみ処理機42台に対し補助金を交付しました。(令和元年実績14件)</p> <p>実施設計が完了しました。</p>																																

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	<p>消費者被害の防止</p> <p>瀬戸内市消費生活センターの認知度を向上させます。</p> <p>警察や関係機関との連携を行うと共に、被害の防止と解決に資する機関として機能の充実に努めます。</p> <p>被害に遭わないための消費者知識を身に付けるため消費者教育を推進します。また、被害に遭いやすい高齢者を見守る人たちへの啓発活動を行い、被害防止や被害の早期発見を目指します。</p>	<p>公共施設等で巡回啓発パネル展示を実施し認知度の向上を図ります。</p> <p>市民図書館に消費者教育コーナーを設置し関連図書並びにパンフレットを配置し消費者教育に関する図書の紹介、貸出を行います。</p> <p>目標 巡回啓発パネル展4回</p> <p>広報紙、出前講座などを通して相談事例や被害に遭わないためのアドバイス、消費生活の豆知識の紹介をします。</p> <p>特殊詐欺の主な被害者である高齢者に対し、防犯機能付き電話機の購入費の一部を補助し、特殊詐欺の被害防止を図ります。</p> <p>目標台数 : 20台</p>	<p>巡回パネル展は現在未実施。</p> <p>市民図書館での消費者教育コーナーは現在未実施。</p> <p>広報せとうちに「消費者生活安心ホットライフ」を1回掲載。出前講座を1回開催しました。</p> <p>防犯機能付き電話機の購入に対し20台補助金を交付しました。</p>	<p>社協 令和2年10月26日～12月25日実施済 同左</p> <p>広報せとうちに「消費者生活安心ホットライフ」を4回掲載。出前講座を2回開催しました。</p> <p>防犯機能付き電話機の購入に対し41台補助金を交付しました。</p>	<p>巡回パネル展を目標回数の4回開催しました。 同左</p> <p>同左</p> <p>防犯機能付き電話機の購入に対し50台補助金を交付しました。</p>

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
5	<p>生活環境の保全</p> <p>瀬戸内市の生活環境保全のため、市民及び事業者に対する啓発活動を充実します。</p>	<p>広報紙に啓発記事を定期的に掲載するとともに、市ホームページを見直し、啓発活動の強化を図ります。</p>	<p>広報せとうち4月号に水質事故防止の記事を掲載しました。</p>	<p>食品ロスについて記事を掲載しました。</p>	<p>広報紙に啓発記事を2回掲載しました。</p>
	<p>飼い主のいない猫の繁殖を抑制するとともに、糞尿等による生活環境被害を防止し、併せて市民の動物に対する愛護意識の高揚を図ります。</p>	<p>飼い主のいない猫の不妊去勢手術費の補助を行い、繁殖を抑制します。 目標数：20 頭</p>	<p>飼い主のいない猫の不妊去勢手術に対し17 頭の補助金交付を行いました。</p>	<p>飼い主のいない猫の不妊去勢手術に対し52 頭の補助金交付を行いました。</p>	<p>飼い主のいない猫の不妊去勢手術に対し57 頭の補助金交付を行いました。 (R 元年度実績 89 頭)</p>
	<p>河川の水質保全に向けて、下水道計画区域外における合併処理浄化槽の整備を推進します。</p>	<p>114 基の合併処理浄化槽の設置を目指します。</p>	<p>合併浄化槽の設置が完了した17 基に対し補助金を交付しました。</p>	<p>合併浄化槽の設置が完了した60 基に対し補助金を交付しました。</p>	<p>住宅の新築や改修が減り目標数には達しませんでした。 合併浄化槽の設置が完了した78 基に対し補助金を交付しました。 (R 元年度実績 91 基)</p>